

プロジェクトサイクルマネジメント (2単位)

担当者氏名 高根務・板垣啓四郎

◆学習・教育目標

開発途上国の農業・農村開発協力プロジェクトを実務レベルで進めるには、プロジェクトサイクルマネジメント (PCM) の手法により、関係者分析、問題分析、目的分析、プロジェクトの選択、活動計画、事後評価などの結果を踏まえて、プロジェクトデザインマトリクスを作成し、問題の因果関係を明確にするとともに有効な協力手法を採択することが重要である。また PCM によって開発協力プロジェクトを適切に管理するシステムを整えておくことが望ましい。本講義では、PCM の考え方から PDM の作成に至る過程を説明するとともにプロジェクトの仮想例で演習を繰り返し、PCM の手法を習得することを目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

<u>参加型計画手法</u>	<u>関係者分析</u>	<u>問題分析</u>	<u>目的分析</u>
<u>プロジェクトの選択</u>	<u>PDM の作成</u>	<u>活動計画表の作成</u>	

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	講義概要の説明	講義の目的と進め方	途上国の農業・農村開発協力プロジェクトで用いる PCM 手法を具体的な事例を用いて明らかにする。授業は指定したテキストを用い、またパワーポイントで授業の要点を明らかにする。それぞれの授業の終わりに次回の講義の範囲を述べるので、予習しておくこと。
2	PCM 手法の概要	PCM 手法の特徴と構成	
3	参加型計画手法の手順関係	参加型計画手法の説明	
4	者分析	関係者分析の説明	
5	問題分析	問題分析の説明	
7	目的分析	目的分析の説明	
8	プロジェクトの選択	プロジェクト選択手法の説明	
9	PDM の作成	PDM 作成手法の説明	
10	活動計画表の作成	仮想例に基づく活動計画表	
11	事例に基づく演習 (1)	事例に基づくケーススタディ	
12	事例に基づく演習 (2)	事例に基づくケーススタディ	
13	事例に基づく演習 (3)	事例に基づくケーススタディ	
14	事例に基づく演習 (4)	事例に基づくケーススタディ	
15	事例に基づく演習 (5)	事例に基づくケーススタディ	
	総合討論	参加者による総合討論	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

講義のときにテキストを紹介する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポート 50%、討論への積極性 50%。

◆その他受講上の注意事項

授業は日本語と英語を併用し、またテキストは英語の教材を用いる。概念、用語、内容をよく整理しておくこと。